

# 消費者金融に関する 調査結果報告書

2025年6月1日

株式会社エイチームライフデザイン

# 目次

- 調査概要
- サマリ
- 調査結果1: 消費者金融の認知と利用経験
- 調査結果2: 借入金額・返済・金利に対する意識
- 調査結果3: 消費者金融の利用意向
- 調査結果4: 消費者金融に対する意識・イメージ

## 調査概要

- 本調査は、全国の18歳以上の男女を対象に、消費者金融に対する「認知」「利用実態」「心理的ハードル」などを多角的に明らかにすることを目的として実施されたものである。
- 生活者が消費者金融に抱くイメージや、利用に際して重視するポイント、不安要素などを網羅的に把握し、社会的理解の促進に資するデータを収集している。

調査手法	インターネット調査
抽出母集団	Freeesyを使用
有効回答数	400人
調査地域	全国
調査対象	18歳以上の男女
調査期間	スクリーニング調査： 2025/4/18～2025/4/18 本調査： 2025/4/24～2025/4/24
調査機関	株式会社エイチームライフデザイン (ナビナビキャッシング運営元)

## 調査概要

- 調査対象者の属性は、多様な職業層・年齢層を含んでおり、消費者金融の利用実態と意識を横断的に捉えることが可能である。
  - 職業別では「会社員」が半数以上を占め、「公務員」「パート・アルバイト」「無職」なども一定数含まれている。
  - 年代別では20代～50代が均等に分布しており、若年層から中高年層までの意識の違いを比較できる構成。
  - 金融リテラシーについては、「普通」とする回答が最多(49.5%)で、「低い」「まったく」と答えた層が26.5%を占めており、情報提供や教育ニーズの高さもうかがえる。

### Q. 消費者金融を知ったきっかけを教えてください。(複数選択可)

			会社員	公務員	自営業	学生	パート・アルバイト	無職	その他
全体		400	208	15	19	25	52	68	13
性別	男性	210	124	12	14	12	15	28	5
	女性	190	84	3	5	13	37	40	8
年代別	10代	30	6	0	0	21	2	1	0
	20代	85	50	3	3	4	10	12	3
	30代	85	52	4	2	0	15	10	2
	40代	85	50	1	5	0	13	12	4
	50代	85	39	6	8	0	11	18	3
	60代以上	30	11	1	1	0	1	15	1

### Q. あなたの金融リテラシー(お金の知識)について教えてください。

			とても高い	高い	普通	低い	まったく ない
全体		400	31	65	198	87	19
性別	男性	210	18	40	112	32	8
	女性	190	13	25	86	55	11
年代別	10代	30	2	5	18	5	0
	20代	85	11	17	35	15	7
	30代	85	7	13	46	19	0
	40代	85	9	13	37	20	6
	50代	85	2	13	45	19	6
	60代以上	30	0	4	17	9	0

# サマリ

- 調査の結果、多くの生活者が「テレビCM」や「インターネット広告」などマスメディア経由で消費者金融を認知している一方で、利用経験のある層は全体の約3割にとどまり、特に20代での利用率が高いことが明らかとなった。
- 利用目的では「急な出費」や「生活費」が中心であり、「審査の通りやすさ」「融資スピード」を重視する傾向が強い。こうした背景から、利便性や即時性へのニーズが高い一方で、「金利」や「返済計画」、「周囲の目」への不安が利用を妨げる大きな要因となっている。
- また、金利がゼロになった場合でも「利用意向が変わらない」とする回答が過半数を占めており、コスト面以外の心理的・社会的障壁の存在が浮き彫りとなった。
- 自由記述では「怖い」「不安」といった否定的な印象が多数見られ、消費者金融のイメージはなお慎重なまま。
- 今後、信頼・安心を軸としたブランド構築や、世代別に最適化されたコミュニケーション戦略が、業界全体の健全化と利用促進において重要な鍵となる。

# 01.

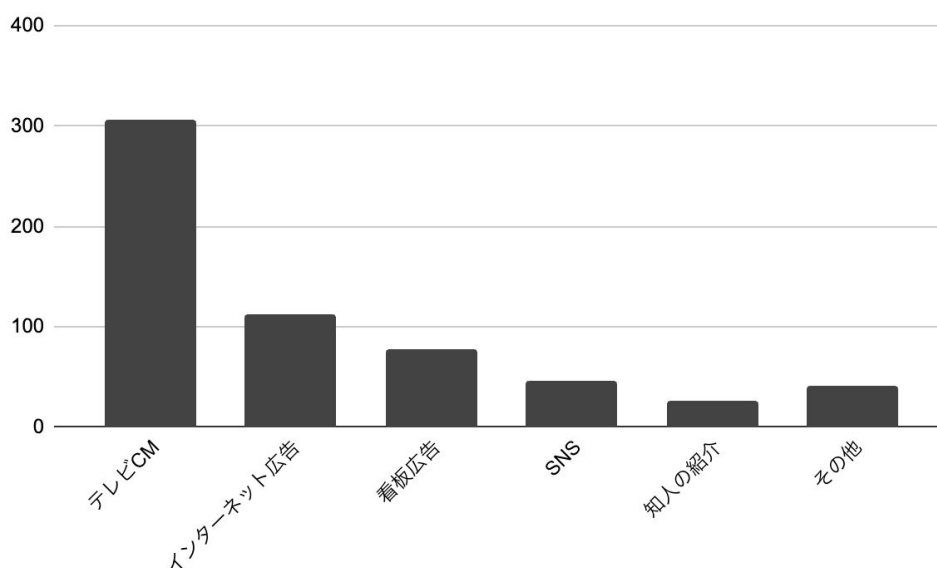
## 消費者金融の 認知と利用経験

## 消費者金融の認知と利用経験①

- 消費者金融を知ったきっかけとして最も多かったのは「テレビCM」(76.8%)で、全年代・男女問わず高い割合を示した。
- 次いで「インターネット広告」(28.3%)、「看板広告」(19.5%)が多く、視覚的・接触頻度の高いメディアが上位を占めた。
- 一方で、SNSや知人からの紹介は若年層(10代・20代)でやや高い傾向にあり、情報の接触経路には年代差が見られる。
- 特に60代以上では「テレビCM」以外の認知率が低く、情報接触のチャンネルが限定的であることがうかがえる。

Q. 消費者金融を知ったきっかけを教えてください。(複数選択可)

		テレビCM	インターネット広告	看板広告	SNS	知人の紹介	その他	
全体		400	307	113	78	46	27	41
性別	男性	331	165	67	44	20	10	25
	女性	281	142	46	34	26	17	16
年代別	10代	30	16	8	5	7	3	7
	20代	85	56	25	15	14	8	6
	30代	85	66	23	10	10	3	10
	40代	85	75	26	20	7	7	4
	50代	85	69	26	21	7	4	10
	60代以上	30	25	5	7	1	2	4



## 消費者金融の認知と利用経験②

- 消費者金融の利用歴について、「現在利用中」は10.8%、「過去に利用経験があるが現在は利用していない」は18.0%で、合計28.8%が利用経験ありと回答した。
- 年代別では20代の利用経験率（現在利用中＋過去利用）が43.5%と最も高く、他の年代を大きく上回った。
- 性別では、男性の利用経験（29.5%）が女性（27.9%）よりやや高いが、大きな差は見られない。
- 10代や60代以上では利用経験が低く、年代によって消費者金融との接点に差があることがわかる。

Q. あなたの消費者金融の利用歴について教えてください。

			現在利用中	以前利用していたが現在は利用していない	利用したことがない
全体		400	43	72	285
性別	男性	210	24	38	148
	女性	190	19	34	137
年代別	10代	30	4	2	24
	20代	85	23	14	48
	30代	85	5	14	66
	40代	85	6	21	58
	50代	85	4	16	65
	60代以上	30	1	5	24

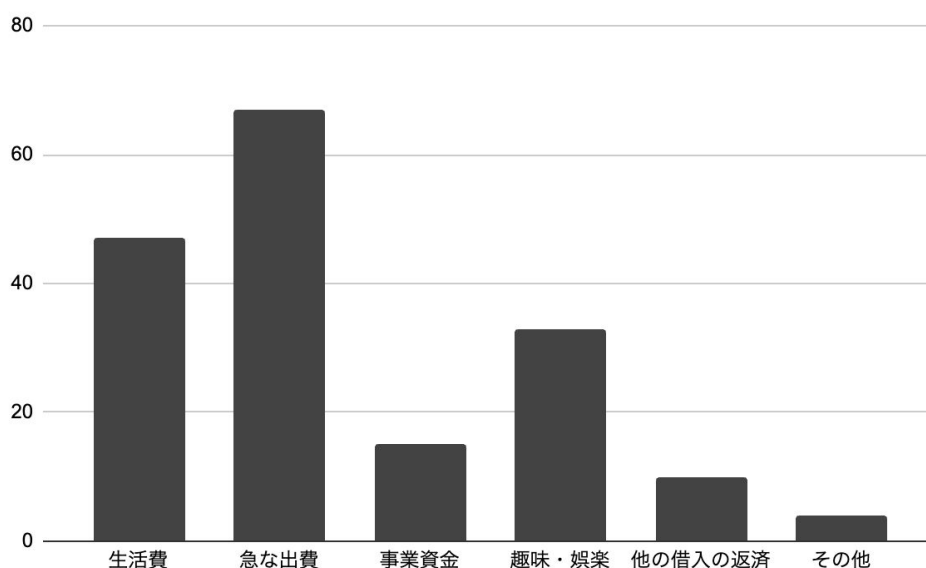
## 消費者金融の認知と利用経験③

- 消費者金融の利用目的で最も多かったのは「急な出費」(58.3%)、次いで「生活費」(40.9%)、「他の借入の返済」(28.7%)となった。
- 年代別では20代で「事業資金」(24.3%)の割合が高く、若年層でも起業や副業目的での利用が見られる。
- 性別で見ると、女性は「生活費」や「他の借入の返済」の割合がやや高く、家計支援や借入管理目的の利用がうかがえる。
- 全体として、突発的な支出対応が主な利用動機であり、安定的な生活資金としての利用傾向も一部に見られる。

### Q. 消費者金融を利用した目的は何ですか？(複数選択可)

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

		生活費	急な出費	事業資金	趣味・娯楽	他の借入の返済	その他	
全体		115	47	67	15	33	10	4
性別	男性	100	28	41	9	16	5	1
	女性	76	19	26	6	17	5	3
年代別	10代	6	2	3	0	3	1	0
	20代	37	14	16	9	12	4	1
	30代	19	7	15	3	5	1	0
	40代	27	14	17	2	8	3	3
	50代	20	8	12	1	3	1	0
	60代以上	6	2	4	0	2	0	0



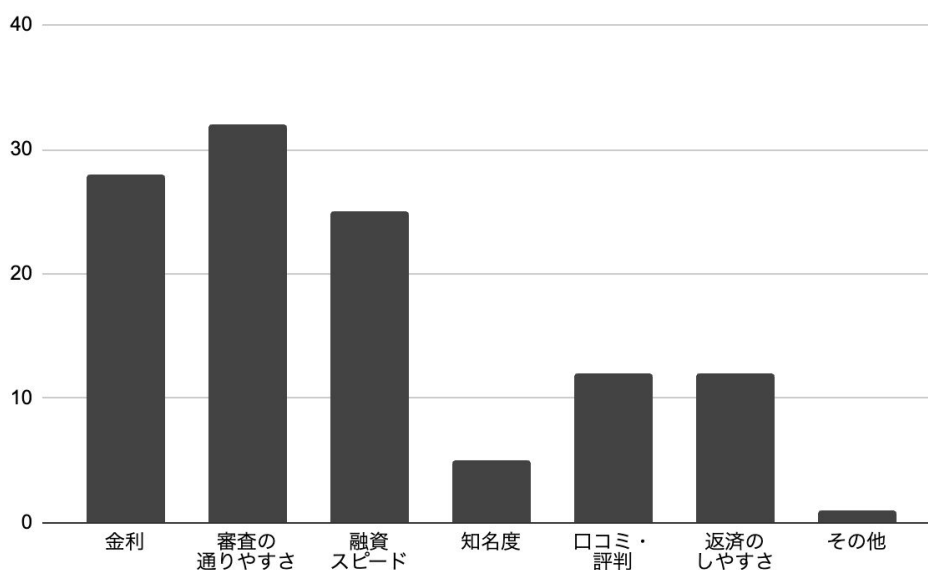
## 消費者金融の認知と利用経験④

- 利用時に最も重視されたポイントは「審査の通りやすさ」(27.8%)で、「融資スピード」(21.7%)、「金利」(24.3%)がこれに続いた。
- 性別で見ると、女性は「融資スピード」(26.4%)も重視する傾向が強く、即時性を求めるニーズがうかがえる。
- 年代別では、20代・30代で「融資スピード」や「審査の通りやすさ」を重視する傾向が高く、緊急性や借入しやすさを重視する傾向が見られた。
- 一方、「返済のしやすさ」や「知名度・口コミ評判」は重視度が相対的に低く、利便性やスピード感が優先されていることがわかる。

### Q. 消費者金融を利用する際に最も重視したポイントは何ですか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

		金利	審査の通りやすさ	融資スピード	知名度	口コミ・評判	返済のしやすさ	その他	
全体	115	28	32	25	5	12	12	1	
性別	男性	62	19	12	11	4	8	7	1
	女性	53	9	20	14	1	4	5	0
年代別	10代	6	1	3	0	0	1	1	0
	20代	37	6	9	9	1	7	5	0
	30代	19	5	9	5	0	0	0	0
	40代	27	10	5	3	3	3	3	0
	50代	20	6	6	4	0	1	2	1
	60代以上	6	0	0	4	1	0	1	0



## 消費者金融の認知と利用経験⑤

- 消費者金融を選んだ理由として最も多かったのは「融資スピードが早かった」(60.0%)、次いで「審査に通りやすそう」(45.2%)、「ネット・スマホで手続きが完結できた」(30.4%)となった。
- 特に20～40代では「手続きの簡便さ」や「スピード感」を重視する傾向が強く、利便性が選定理由に直結している。
- 「職場や家族にバレにくい」も19.1%と一定の需要があり、プライバシーを重視する意識もうかがえる。
- クレジットカードや銀行ローンの利用制限や条件面でのハードルも、消費者金融選択の背景として浮かび上がる。

### Q. クレジットカードのキャッシングや銀行ローンではなく、消費者金融を選んだ理由は何ですか？ (複数選択可)

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

		審査に通りやすそうだった	融資スピードが早かった	ネット・スマホで手続きが完結できた	職場や家族にバレにくいと思った	収入証明書なしで借りられた	銀行やクレジットカードのキャッシング枠が使えなかった	その他	
全体		115	52	69	35	22	17	14	3
性別	男性	104	28	38	13	10	6	7	2
	女性	108	24	31	22	12	11	7	1
年代別	10代	6	1	4	3	1	1	2	0
	20代	37	19	16	13	9	4	3	1
	30代	19	8	11	5	3	4	0	0
	40代	27	15	22	12	6	6	4	1
	50代	20	7	12	2	2	2	5	1
	60代以上	6	2	4	0	1	0	0	0

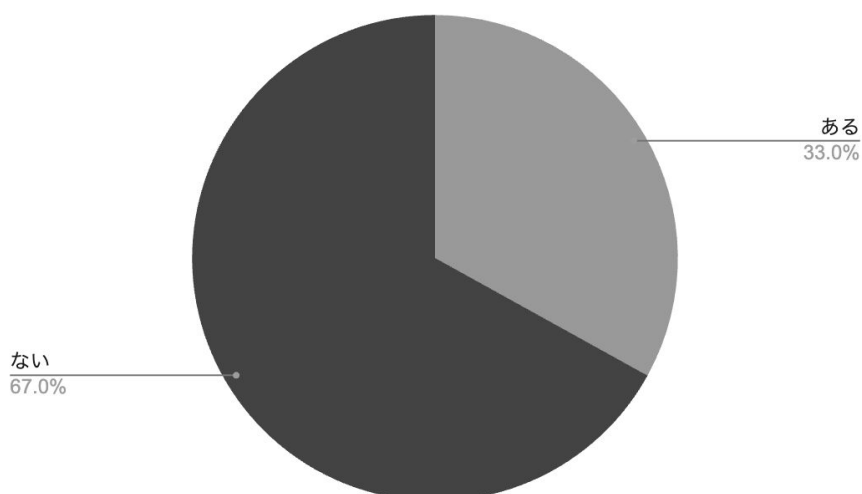
## 消費者金融の認知と利用経験⑥

- 消費者金融の審査に「通らなかったことがある」と回答した人は全体の33.0%にのぼり、一定数が審査での障壁を経験している。
- 年代別では20代の審査落ち経験率が最も高く(51.4%)、若年層ほど審査通過の難しさを感じている傾向が見られる。
- 性別では女性(37.7%)の方が男性(29.0%)よりもやや高く、審査通過に不安を抱く層が多いことがうかがえる。
- この結果から、若年層や一部女性層で信用力の不足や収入面の条件が審査通過の壁となっている可能性がある。

### Q. 過去に消費者金融を利用しようとして、審査に通らなかったことはありますか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

			ある	ない
全体		115	38	77
性別	男性	62	18	44
	女性	53	20	33
年代別	10代	6	3	3
	20代	37	19	18
	30代	19	6	13
	40代	27	7	20
	50代	20	3	17
	60代以上	6	0	6



## 消費者金融の認知と利用経験⑦

- 消費者金融利用者のうち、返済が「難しくなったことがある」と回答したのは44.3%にのぼり、返済困難の経験は決して少なくない。
- 特に20代・30代での割合が高く、若年層での計画的返済への課題が浮かび上がる。
- 対処方法としては「別の金融機関で借入した」(47.1%)が最多で、「家族や知人に相談した」(41.2%)がこれに次いだ。
- 一方、「支払いを遅延した」人も37.3%と多く、返済の行き詰まりがさらなる借入や信用リスクの拡大につながっている実態が読み取れる。

### Q. 返済が難しくなったことはありますか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

			ある	ない
全体		115	51	64
性別	男性	62	30	32
	女性	53	21	32
年代別	10代	6	2	4
	20代	37	17	20
	30代	19	10	9
	40代	27	10	17
	50代	20	9	11
	60代以上	6	3	3

### → Q. その際、どのように対処しましたか？

			家族や知人に 相談した	別の金融機関で 借入した	支払いを 遅延した	その他
全体		51	21	24	19	3
性別	男性	38	11	13	12	2
	女性	29	10	11	7	1
年代別	10代	2	2	2	1	0
	20代	17	8	7	6	0
	30代	10	2	4	6	1
	40代	10	5	6	3	0
	50代	9	3	4	3	1
	60代以上	3	1	1	0	1

## 消費者金融の認知と利用経験⑧

- 消費者金融の利用を「断念したことがある」と回答した人は11.8%で、一定数が利用前に躊躇・中止していることが明らかになった。
- 理由としては「借入に不安があったから」(63.8%)が最多で、消費者金融に対する心理的抵抗感が大きな要因となっている。
- 他には「申し込み条件を満たしていなかった」(34.0%)、「審査に通らないと思った」(34.0%)といった実務的な障壁も目立つ。
- 年代・性別を問わず不安要因が上位にあり、利用意向と実行の間に心理的・制度的ギャップが存在していることがうかがえる。

### Q. 過去に消費者金融を利用しようとして、断念したことはありますか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

			ある	ない
全体		400	47	353
性別	男性	210	25	185
	女性	190	22	168
年代別	10代	30	2	28
	20代	85	15	70
	30代	85	8	77
	40代	85	12	73
	50代	85	7	78
	60代以上	30	3	27

### → Q. その理由は何ですか？(複数選択可)

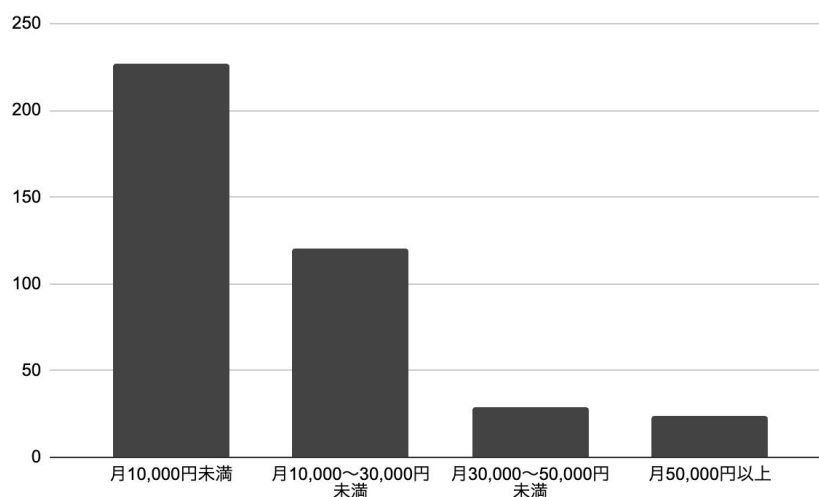
		消費者金融から お金を借入 することに 不安があっ たから	申し込み条 件を 満たしてい なかったから	過去の履歴 などから 審査に通ら ないと思っ たから	申し込み方 法が 難しかったか ら	お金が必要 なタイミング までに融資を 受けられない と思っただから	返済の目途 が 立たなかつた から	その他	
全体		47	30	16	16	6	8	12	0
性別	男性	41	19	5	6	3	3	5	0
	女性	47	11	11	10	3	5	7	0
年代別	10代	2	0	1	2	0	1	1	0
	20代	15	9	4	5	2	3	3	0
	30代	8	6	3	3	1	1	2	0
	40代	12	7	7	4	2	2	4	0
	50代	7	5	1	2	1	1	2	0
	60代以上	3	3	0	0	0	0	0	0

## 借入金額・返済・金利に対する意識①

- 「無理なく返済できる」と感じる毎月の返済額として最も多かったのは「月1万円未満」(56.8%)で、次いで「1万～3万円未満」(30.0%)となった。
- 性別では、女性の約67.4%が「月1万円未満」と回答しており、男性(47.1%)と比べて慎重な返済志向が強い傾向にある。
- 年代別では全年代で「月1万円未満」が最多だが、特に10代・60代以上では7割を超えており、可処分所得の少ない層でその傾向が顕著。
- 全体として、多くの人々が比較的少額の返済であれば無理なく対応できると感じており、返済負担の軽さが利用意向に大きく影響することが示唆される。

Q. あなたにとって「無理なく返済できる」と感じる毎月の返済額はいくらですか？

			月10,000円未満	月10,000～30,000円未満	月30,000～50,000円未満	月50,000円以上
全体		400	227	120	29	24
性別	男性	210	99	73	24	14
	女性	190	128	47	5	10
年代別	10代	30	19	7	2	2
	20代	85	48	29	3	5
	30代	85	47	31	2	5
	40代	85	50	21	9	5
	50代	85	48	24	8	5
	60代以上	30	15	8	5	2



## 借入金額・返済・金利に対する意識②

- 消費者金融の金利について、「とても高い」(52.0%)と「やや高い」(30.3%)を合わせると8割超(82.3%)が“高い”と感じており、金利負担への懸念が強く示された。
- 年代別では50代の「とても高い」回答が最も多く(70.6%)、年齢が上がるほど金利への敏感さが増す傾向が見られる。
- 一方、「適正」と感じている人は5.8%と少数にとどまり、「分からない」との回答も11.5%あり、特に若年層で金利理解が不十分な可能性もある。
- 全体として、金利は消費者金融利用における大きな心理的障壁となっている。

### Q. 消費者金融の金利をどう感じますか？

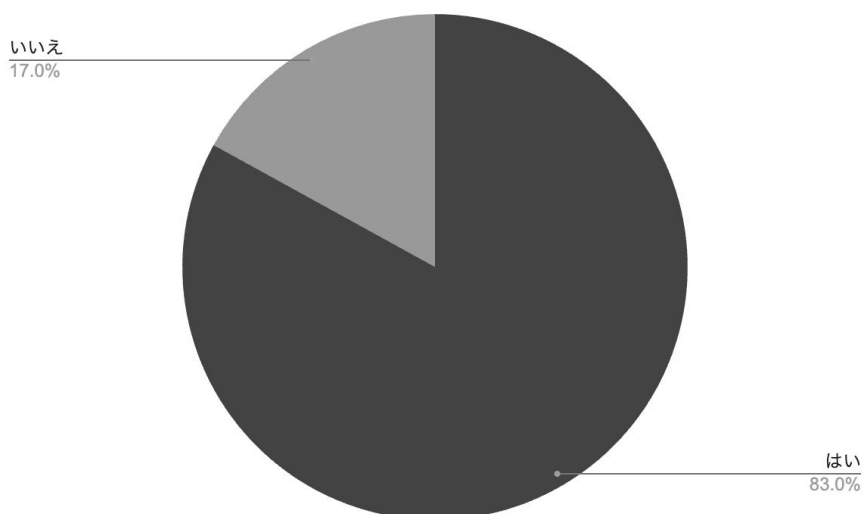
			とても高い	やや高い	適正	低い	分からない
全体		400	208	121	23	2	46
性別	男性	210	116	64	8	1	21
	女性	190	92	57	15	1	25
年代別	10代	30	9	15	1	0	5
	20代	85	29	31	10	1	14
	30代	85	40	26	5	0	14
	40代	85	50	21	5	0	9
	50代	85	60	20	1	0	4
	60代以上	30	20	8	1	1	0

## 借入金額・返済・金利に対する意識③

- 消費者金融の利用を検討するときに「金利比較を行いたい」と回答した人は全体の83.0%に達し、消費者金融の利用にあたって金利を重視する姿勢が顕著に示された。
- 性別では男性(86.2%)が女性(79.5%)をやや上回っており、特に男性の方がコスト意識が高い傾向がうかがえる。
- 年代別では30～50代で比較意向が特に高く(いずれも約89%)、利用経験や経済的責任のある層で慎重な姿勢が強い。
- 一方で、10代や20代では比較意向がやや低く、金融リテラシーの向上による意識改革の必要性も示唆される。

Q. 消費者金融の利用を検討する場合、金利比較は行いたいですか？

			はい	いいえ
全体		400	332	68
性別	男性	210	181	29
	女性	190	151	39
年代別	10代	30	24	6
	20代	85	61	24
	30代	85	67	18
	40代	85	78	7
	50代	85	76	9
	60代以上	30	26	4

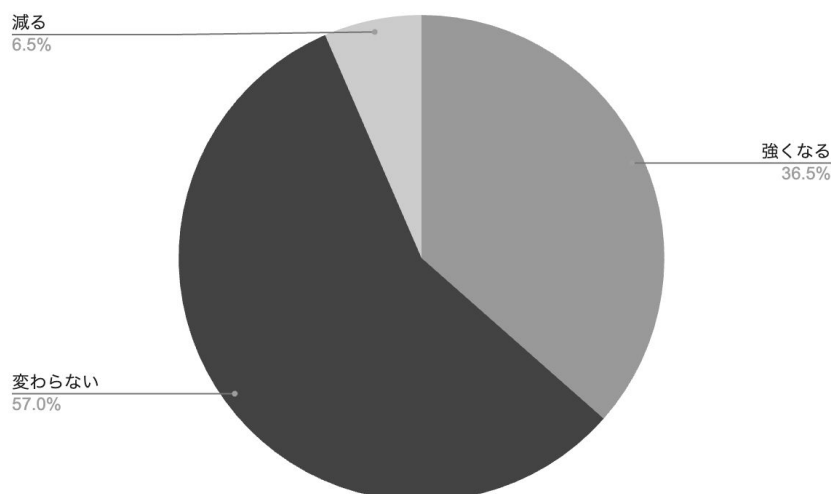


## 借入金額・返済・金利に対する意識④

- もし消費者金融の金利がゼロになったら、利用したいという気持ちに変化はあるかについて、「利用したい気持ちが強くなる」と回答した人は36.5%にとどまり、「変わらない」(57.0%)が過半数を占めた。
- 金利ゼロでも利用意向が変わらない層が多く、金利だけでなく「信用」「イメージ」「手続きへの不安」などが利用の障壁となっていることが示唆される。
- 年代別では20代(42.4%)と40代(45.9%)で「強くなる」の割合が高く、金利負担の軽減が若・中年層の利用意欲を高める可能性がある。
- 一方で、60代以上では「利用したい気持ちが強くなる」は3割未満と低く、年齢が上がるほど金利以外の要因が重視されている。

Q. もし消費者金融の金利がゼロになったら、利用したいという気持ちに変化はありますか？

			利用したい 気持ちが 強くなる	変わらない	利用したい 気持ちは 減る
全体		400	146	228	26
性別	男性	210	88	111	11
	女性	190	58	117	15
年代別	10代	30	11	17	2
	20代	85	36	41	8
	30代	85	24	55	6
	40代	85	39	44	2
	50代	85	27	50	8
	60代以上	30	9	21	0



# 03.

## 消費者金融の利用意向

## 消費者金融の利用意向①

- 今後、消費者金融を利用する可能性について、「利用する可能性が高い」「どちらかといえば高い」と回答した人は合計20.3%にとどまり、大多数(79.8%)は「低い」「まったくない」と消極的だった。
- 特に50代・60代以上では「まったくない」が過半数を占め、年齢が上がるほど利用意向が低下する傾向が顕著。
- 一方、20代では「高い」「どちらかといえば高い」が38.8%と相対的に高く、若年層では今後の利用可能性が比較的高いことがわかる。
- 性別では大きな差は見られず、男女ともに8割前後が消極的な姿勢を示した。
- 全体として、消費者金融の利用意欲は限定的で、慎重な姿勢が根強い。

Q. 今後、消費者金融を利用する可能性はありますか？

			高い	どちらかとい えば高い	低い	まったく ない
全体		400	22	59	133	186
性別	男性	210	11	29	77	93
	女性	190	11	30	56	93
年代別	10代	30	1	7	14	8
	20代	85	7	26	26	26
	30代	85	4	11	26	44
	40代	85	7	9	32	37
	50代	85	3	4	24	54
	60代以上	30	0	2	11	17

## 消費者金融の利用意向②

- 消費者金融の利用を検討する場合の最も不安な点は「金利」(46.0%)が最も多く挙げられ、不安要素の中心はコスト負担であることが明らかとなった。
- 次いで「返済計画」(26.8%)、「個人情報の取り扱い」(16.0%)が続き、経済的負担やプライバシー面への懸念が目立った。
- 性別で見ると、女性は「個人情報の取り扱い」への不安が男性より高く、安心感のある情報管理体制が求められている。
- 年代別では、30代以降で「金利」が特に高く、10代・20代では「返済計画」や「個人情報の取り扱い」など複数の不安が分散している傾向がある。
- 全体として、利用前に多面的な不安が存在し、金利だけでなく信頼性・透明性の確保が重要といえる。

Q. 消費者金融の利用を検討する場合、最も不安な点は何ですか？

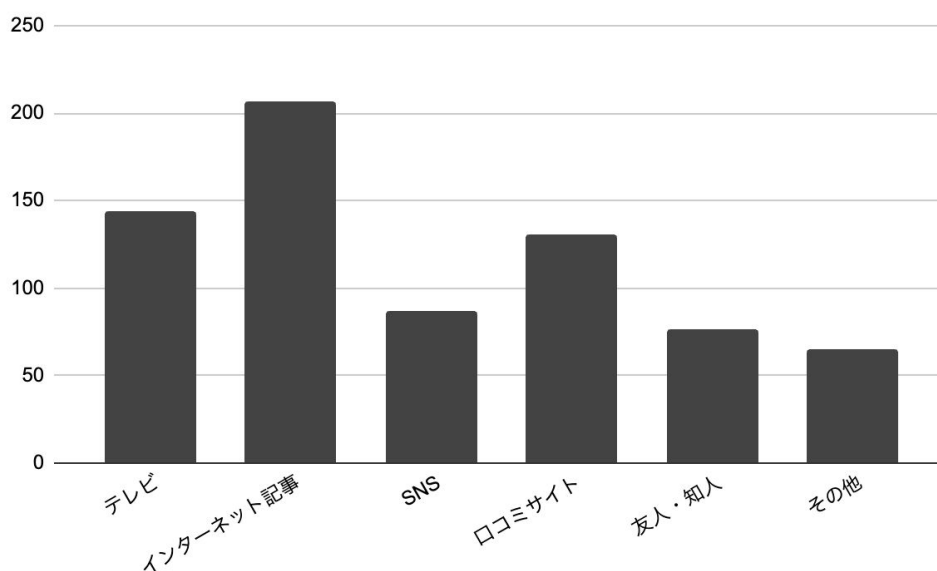
		審査結果	個人情報の 取り扱い	金利	返済計画	その他	
全体		400	24	64	184	107	21
性別	男性	210	11	29	102	55	13
	女性	190	13	35	82	52	8
年代別	10代	30	0	9	9	11	1
	20代	85	11	21	28	21	4
	30代	85	7	15	36	19	8
	40代	85	2	10	49	24	0
	50代	85	2	4	49	24	6
	60代以上	30	2	5	13	8	2

## 消費者金融の利用意向③

- 情報収集の手段として最も多かったのは「インターネット記事」(51.8%)、次いで「テレビ」(36.0%)、「口コミサイト」(32.8%)となり、信頼性のある第三者情報やマスメディアを重視する傾向がうかがえる。
- 「SNS」(21.8%)や「友人・知人」(19.0%)は若年層での割合がやや高く、情報源の多様化が進んでいる。
- 年代別では、10～30代で「インターネット記事」や「SNS」が多く、40代以降では「テレビ」や「口コミサイト」が重視される傾向がある。
- 全体として、情報源には信頼性と利便性の両立が求められており、年齢層に応じた情報提供の工夫が必要といえる。

Q. 消費者金融の利用を検討する場合、消費者金融の情報をどこで得たいですか？

		テレビ	インターネット記事	SNS	口コミサイト	友人・知人	その他
全体		400	207	87	131	76	65
性別	男性	368	112	39	64	36	34
	女性	342	95	48	67	40	31
年代別	10代	30	12	14	10	9	3
	20代	85	38	25	32	15	13
	30代	85	49	18	26	16	13
	40代	85	41	17	27	19	19
	50代	85	50	7	26	12	14
	60代以上	30	17	6	10	5	3



# 04.

## 消費者金融に対する 意識・イメージ

## 消費者金融に対する意識・イメージ①

- 消費者金融の利用に対する周囲の目について、「とても気にする」(45.3%)と「多少気にする」(35.3%)を合わせると、約8割(80.6%)が周囲の目を意識していることが分かった。
- 性別では女性の方が「とても気にする」(52.6%)割合が高く、社会的な視線や評価への配慮がより強く表れている。
- 年代別では、20代～50代で「とても気にする」が4割を超え、中高年層でも消費者金融の利用には一定の心理的抵抗がある。
- 特に10代では8割が何らかの形で気にしており、若年層ほど周囲からの印象を重視している傾向が顕著である。
- この結果は、実際の利用ハードルが金利や審査だけでなく、社会的イメージにも根差していることを示している。

Q. 消費者金融の利用について、周囲の目を気にしますか？

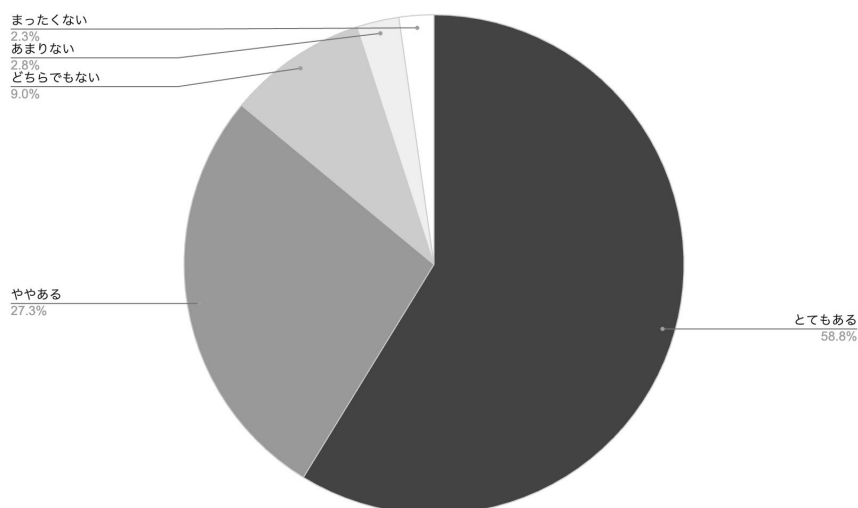
			とても 気にする	多少 気にする	あまり 気にしない	まったく 気にしない
全体		400	181	141	47	31
性別	男性	210	81	81	24	24
	女性	190	100	60	23	7
年代別	10代	30	8	16	5	1
	20代	85	37	32	11	5
	30代	85	39	28	9	9
	40代	85	44	28	6	7
	50代	85	44	24	9	8
	60代以上	30	9	13	7	1

## 消費者金融に対する意識・イメージ②

- 消費者金融の利用に対する抵抗感について、「とてもある」(58.8%)と「ややある」(27.3%)を合わせて、全体の86.1%が何らかの抵抗感を抱いており、依然として強い心理的バリアが存在している。
- 性別では女性の「とてもある」が62.6%と男性(55.2%)よりも高く、消費者金融に対する警戒心が高い傾向がみられる。
- 年代別では、全年代で「とてもある」が最多であり、特に50代(69.4%)と40代(65.9%)で顕著だった。
- 「抵抗感がまったくない」と回答した人はわずか2.3%にとどまり、社会的なイメージや過去の印象が利用心理に大きく影響していると考えられる。

Q. 消費者金融の利用に対して、抵抗感がありますか？

			とてもある	ややある	どちらでもない	あまりない	まったくない
全体		400	235	109	36	11	9
性別	男性	210	116	62	19	8	5
	女性	190	119	47	17	3	4
年代別	10代	30	14	8	8	0	0
	20代	85	42	29	10	2	2
	30代	85	48	25	7	3	2
	40代	85	56	20	3	3	3
	50代	85	59	19	4	1	2
	60代以上	30	16	8	4	2	0

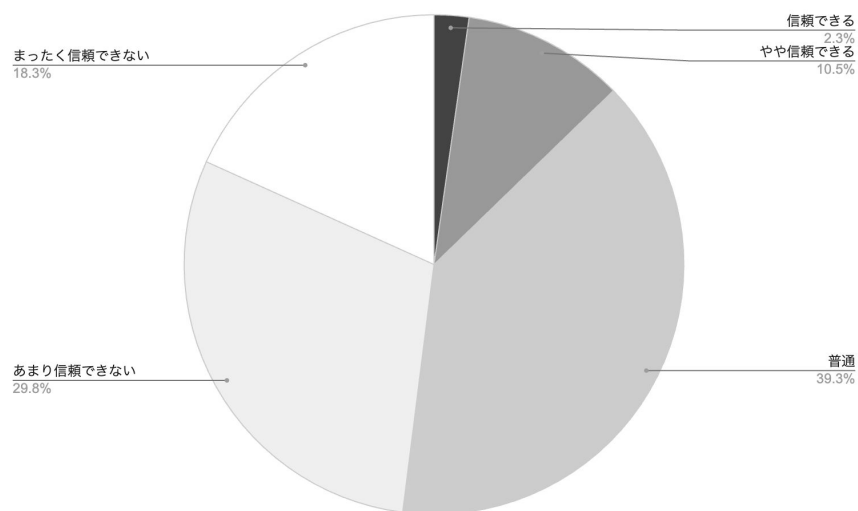


## 消費者金融に対する意識・イメージ③

- 消費者金融の広告を見たときの印象について、「信頼できる」(2.3%)および「やや信頼できる」(10.5%)を合わせても好意的な印象を持つ人は12.8%にとどまり、多くの人が広告に対して懐疑的な姿勢を示している。
- 最多は「普通」(39.3%)だが、「あまり信頼できない」(29.8%)、「まったく信頼できない」(18.3%)を合わせると48.1%が否定的な印象を抱いている。
- 年代別では30代～50代で否定的な印象が目立ち、特に30代は「まったく信頼できない」が29.4%と高い傾向にある。
- 全体として、広告単体での信頼獲得には限界があり、情報の透明性や実利用者の声を取り入れた訴求が求められる。

Q. 消費者金融の広告を見たときの印象を教えてください。

		信頼できる	やや信頼できる	普通	あまり信頼できない	まったく信頼できない
全体		400	9	42	157	73
性別	男性	210	5	19	93	34
	女性	190	4	23	64	39
年代別	10代	30	0	2	16	2
	20代	85	4	19	27	12
	30代	85	0	10	21	25
	40代	85	4	8	32	17
	50代	85	0	3	43	15
	60代以上	30	1	0	18	9

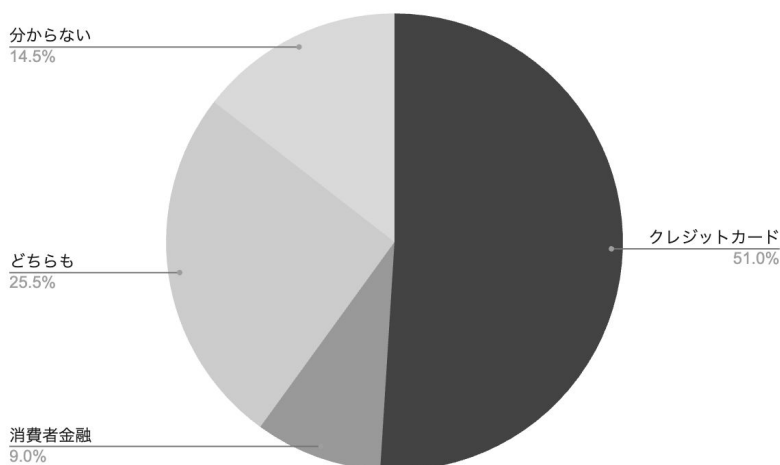


## 消費者金融に対する意識・イメージ④

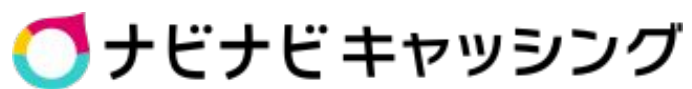
- クレジットカードのキャッシングと消費者金融では、「クレジットカードの方が借しやすい」と回答した人が全体の51.0%と過半数を占め、「消費者金融」(9.0%)を大きく上回った。
- 「どちらも同じ」(25.5%)や「分からない」(14.5%)といった回答も一定数あり、借入手段の違いに対する理解が必ずしも浸透していない可能性がある。
- 年代別では20代～50代でクレジットカード優位の傾向が強く、30代は特に高く(49.4%)、「消費者金融」との差が顕著だった。
- 全体として、クレジットカードの方が利便性や安心感において優位と認識されており、消費者金融は“借しやすい”という印象を十分に得られていない実態がうかがえる。

Q. クレジットカードのキャッシングと消費者金融、どちらが借しやすいと思いますか？

		クレジット カード	消費者金融	どちらも 同じ	分からない	
全体		400	204	36	102	58
性別	男性	210	111	18	53	28
	女性	190	93	18	49	30
年代別	10代	30	14	2	6	8
	20代	85	39	14	20	12
	30代	85	42	4	22	17
	40代	85	43	9	20	13
	50代	85	46	4	28	7
	60代以上	30	20	3	6	1







<https://a-cashing.com/>

#### 調査結果の利用について

統計データを引用・転載する場合には、  
出典(ナビナビキャッシング)の表記をお願いします。

(例)資料:ナビナビキャッシング「消費者金融に  
関する調査報告書」